つめかえインク取扱説明書

INK-70BK

必ず本取扱説明書を読んで、正しく作業を行ってください。

eco・INK

対応インクカートリッジ

キヤノン　BC-70　BC-90

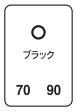
対応プリンタ

PIXUS　MP470　MP460　MP450　MP170
iP2600　iP2500　iP2200　iP1700

セット内容（数量はパッケージをご覧ください。）

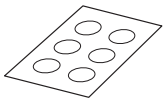
①インクボトル

②ドリルガイドシール

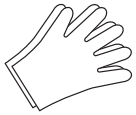


③ポケットドリル

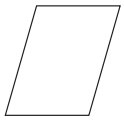
④注入口シール



⑤ポリ手袋



⑥取扱説明書



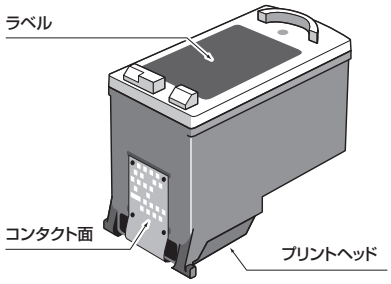
※つめかえ工具は専用品です。
本製品をお使いいただく時は、他のキヤノン対応つめかえ用工具（ドリルやプラグなど）は使用できません。必ず上記の工具を使用してください。本製品以外では工具の種類が違いますので、不完全なつめかえとなり、プリンタに損傷を与える恐れがあります。

インク成分

・ブラック（顔料）…［蒸留水］50%～60%
［溶剤（グリコール）］20%～30%
［その他顔料など］2%～10%

各部の名称

インクカートリッジ



⚠ 注意
カートリッジのコンタクト面やプリントヘッドには触れないようにしてください。故障の原因になります。

○注意事項

●つめかえをする前に、必ず取扱説明書を読んで正しく作業を行ってください。不完全なつめかえや説明内容と違った使い方をすると、インク漏れとなりプリンタに損傷を与える場合があります。
●本取扱説明書に記載されていること以外は行わないでください。印刷不良や思わぬ事故の原因となる場合があります。
●本製品は純正インクカートリッジの新品を対象としており、その使用後につめかえインクを使用していただくものです。これ以外のインクカートリッジでは、本つめかえ製品はお使いになれませんので、ご承知くださるようお願いします。
●他社製つめかえインクと混合・併用、再生・互換品のインクカートリッジにつめかえて使用すると、印字不良やインクカートリッジ不具合となる恐れがあり、これらの原因でトラブルとなった場合はユーザーサポート及びいかなる責任も負いません。

○使用上の注意と保管について

●本製品のインクは身体や衣類に付着するとすぐには消えません。ご使用に際しては、不用意にインクボトルを強く握ったり、逆さまに持ったりしないようにしてください。インクが噴き出したり、こぼれ落ちたりします。
●つめかえは新聞紙などを敷いて、そのうえで行ってください。
●つめかえる時にインクがこぼれ、周辺が汚れる事があります。ティッシュペーパーもしくはペーパータオルなどをあらかじめご用意ください。
●ポケットドリルは金属製です。使用の際にはご使用者本人及び周囲へのケガ、事故など身体の安全に注意してください。使用後はパッケージ（箱）に入れ、小児・幼児の手の届かないところで保管してください。また、インクのつめかえ専用にお使いいただくための治具であり、本用途以外の目的にはお使いにならないでください。
●子供の手の届く所に置かないでください。
●飲むことはできません。誤って飲んでしまった場合には、医者の診断を受けてください。
●目に入ってしまった場合には、すぐに水で洗い流してください。
●インクカートリッジをプリンタから取外したり、取付けたりする時には、プリンタの取扱説明書の指示に従ってください。
●インクは開封後1年以内にご使用ください。
●つめかえした後の残ったインクは、ゴムキャップをしっかりして、直射日光や高温多湿の場所を避け、涼しい所で保管してください。インクの漏れを防ぐためにインクボトルは立てて保管してください。

○製品について

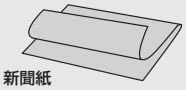
●本製品のインクは弊社製インクを使用しており、純正インクの印刷色合いとは差異が生じる場合があります。
●本製品はキヤノン（株）とは無関係で、承認を受けたものではありません。
●記載されている会社名・製品名は、一般には各社の商標または登録商標です。
●改良のため予告なく外観、仕様を変更する場合があります。
●製品上の原因による品質不具合が認められたました場合は、同数の新しい製品と取替えいたします。それ以外の責はご容赦くださるようお願いします。

つめかえの前に必ずお読みください

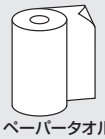
つめかえのポイント

準備（汚れ防止のための準備）

●つめかえの時にインクがこぼれて、周辺が汚れることがあります。あらかじめ新聞紙やペーパータオルなどを用意し、その上で作業をしてください。
●手や着衣にインクがつかないよう付属の手袋（⑤）をつけ、エプロンなどを着用して汚れを防止してください。


新聞紙

手袋


ペーパータオル

確認

●長期間プリンタを使っていない場合は、必ず印刷できるか確認してください。また、取り外して放置されていたカートリッジは、インクが正常に出て印刷できるか確認してください。正常でないカートリッジをつめかえても印字不良となります。

つめかえのタイミング

●印刷にかすれが見え始めてきたら早めにつめかえを行ってください。

つめかえ回数（推奨限度回数）

●つめかえによるカートリッジの再使用は各色3～4回までが適当です。それ以上のつめかえはインク供給に不都合を生じ、正常な印字ができなくなる場合があります。

つめかえ後のクリーニング

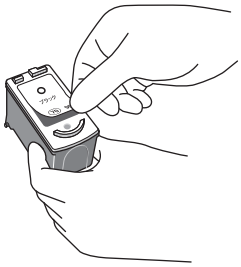
●クリーニングの繰り返しはインクが消費されます。3回までのクリーニングで正常にプリントされない場合はクリーニングを中止して、トラブルシューティングを参照してください。

つめかえの手順　本書に記載されていること以外は行わないでください。印刷不良や思わぬ事故の原因となる場合があります。

1 ドリルガイドシールをカートリッジに貼る

ドリルガイドシール(②)のお使いのカートリッジ番号に印を付け、カートリッジのラベルに合わせて貼り付けてください。

⚠ 注意
作業は新聞紙やペーパータオルなどを敷き、その上で行ってください。

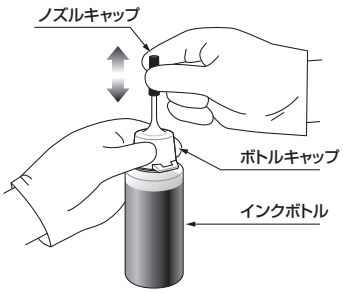


2 カートリッジにインク注入口をあける

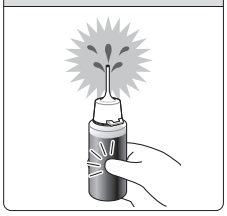
ドリルガイドシールの丸い穴にポケットドリル(③)の先端を合わせ、垂直に立てた状態で少し力を加えながらゆっくり時計方向に回転させ、まっすぐ穴をあけます。

3 インクボトルのゴムキャップをはずす

手袋(⑤)を着用します。インクボトルのキャップを取り外したり閉めたりする際は、ノズルの根元をしっかり押さえながら、垂直方向に動かしてください。



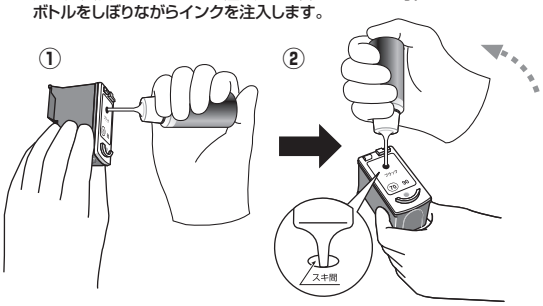
⚠ 注意
インクボトル部分は絶対に押さえないでください。押さえるとインクが飛び出すことがあります。(ノズルキャップを閉める際はノズルの先端から1cmほど差し込んでください。)



4 インクを注入する

①カートリッジを横向きにし、手順②で開けた注入口にインクボトルのノズルの先端を1cmほど差し込みます。

②そのままの状態でカートリッジとインクボトルを起こし、いったんボトルのノズルを注入口がふさがるまで差し込み、次に5mmほど引き上げて、ゆっくりとボトルをしぼりながらインクを注入します。



⚠ 注意
差し込みすぎに注意し、注入口に空気逃げのスキ間を必ず開けてください。
つめかえ中に注入口やプリントヘッドからインクがあふれたり、漏れたりした場合はその時点で注入を終了してください。

4 インクを注入するの続き

注入量の目安

BC-70	標準量　約13ml
BC-90(大容量タイプ)	標準量　約18ml

⚠ 注意
つめかえで入るインク量は、1～2回目はおおむね標準量より多く入り、3回目以降は少なくなります。
上記の注入量はインクを使い切ったときの平均的な推定量で、お使いの状況やつめかえをするタイミングにより変わります。

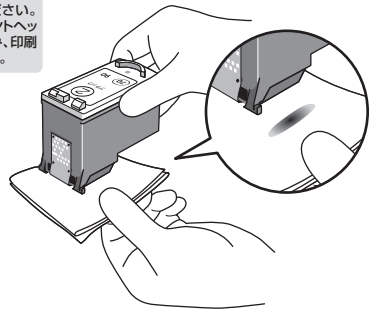
5 注入口にシールを貼る

注入口からこぼれて付着したインクをティッシュペーパーなどでふき取り、付属の注入口シール(④)を貼ります。
つめかえ回数が確認できるよう、注入口シールに回数を記入しておきます。

6 ヘッドからのインクの確認をする

厚く重ねたティッシュペーパー等にプリントヘッドを2～3回押し当てて余分なインクを取り除き、その後、図のようにインクのにじみ跡がはっきりと確認できたら完了です。

⚠ 注意
プリントヘッド部分は強く拭いたりこすったりしないでください。紙の繊維がほころびプリントヘッドのノズルの穴に入り込み、印刷不良となることがあります。



これでつめかえ作業は終了です。

●つめかえたあとの作業について

インク残量検知機能無効操作について

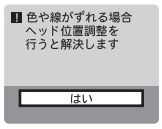
本カートリッジを使用するプリンタの特性上、いったん外したカートリッジを付け直した際に「インク残量を正しく検知できません」ということを知らせるメッセージが表示される場合があります。継続して使用するにはインク残量検知機能を解除しなければなりませんので、つめかえをしたカートリッジを使用する場合もこの操作を行う必要があります。
(この作業方法についてはキヤノンとは無関係であり、承認されたものではありません。)

※インク残量検知機能を無効にした後はインク残量警告やインク残量が表示されませんので、印刷の際はあらかじめノズルチェックパターンなどでインクの有無を確認しながら行ってください。
※ノズルチェックや印刷にかすれがみられる場合は早めにつめかえを行ってください。
※インク残量検知機能はカートリッジを再び新品カートリッジにかえることにより、有効になります。

つめかえの手順　本書に記載されていること以外は行わないでください。印刷不良や思わぬ事故の原因となる場合があります。

7 インク残量検知機能を無効にする

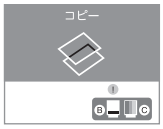
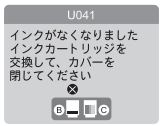
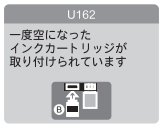
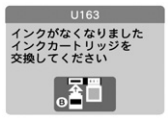
①つめかえたカートリッジをプリンタに取り付け、クリーニングまたは印刷を開始すると下記のメッセージが表示されますので各々の手順に従って操作を行ってください。

ステータスモニター	操作パネル液晶モニター		エラーランプ
MP470 / MP460 / MP450 / MP170/ iP1700 / iP2200/ iP2500	MP170	MP470 /MP460 / MP450	MP470 / MP460 / MP450 / MP170 / iP1700 / iP2200 / iP2500
 ※キヤノンプリンタ PIXUS MP450 (OS Windows XP)を使用時の画面です。	クロインク　ザンリョウ　フメイ ⇩ インサツケッカガ　オカシイトキハ ヘッドイチチョウセイヲ　オススメシマス	 	点灯 ※本体操作の場合は消灯となります。

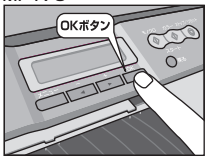
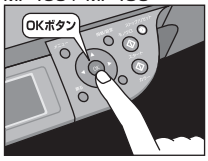
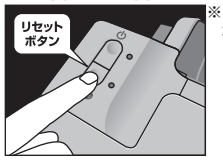
⇩

操作手順		
パソコン操作の場合	本体操作の場合	
MP470 / MP460 / MP450 / MP170/ iP1700 / iP2200/ iP2500	MP170	MP470 / MP460 / MP450
ステータスモニターの〔OK〕をクリックすると表示が消え、印刷が開始されます。	操作パネルのモノクロ/カラーの〔スタート〕ボタンを押してください。 ⇩ 操作パネルのモノクロ/カラーの〔スタート〕ボタンまたは〔OK〕ボタンを押すと印刷が開始されます。	操作パネルの〔OK〕ボタンを押すと印刷が開始されます。

②印刷開始直後、または印刷中に下記のいずれかのメッセージが表示される場合があります。その場合は各々の手順に従って操作を行ってください。表示されない場合はそのまま印刷を続けてください。

ステータスモニター	操作パネル液晶モニター		エラーランプ	
MP470 / MP460 / MP450 / MP170 iP1700 / iP2200 / iP2500	MP170	MP470 / MP460 / MP450	MP470 / MP460 MP450 / MP170	iP1700 / iP2200 iP2500
 ※キヤノンプリンタ PIXUS MP450(OS Windows XP)を使用時の画面です。	クロインクガ　ナクナリマス	 	消灯	消灯
 ※キヤノンプリンタ PIXUS MP450(OS Windows XP)を使用時の画面です。	インクヲ　カクニンシテクダサイ U041	 	点灯	4回点滅
 ※キヤノンプリンタ PIXUS MP450(OS Windows XP)を使用時の画面です。	インクヲ　カクニンシテクダサイ U162　　クロ	 	点灯	16回点滅
 ※キヤノンプリンタ PIXUS MP470(OS Windows XP)を使用時の画面です。	—	 	点灯	—

⇩

操作手順	
MP470 / MP460 / MP450 / MP170	iP1700 / iP2200 / iP2500
つめかえをしてインクは充填されていますので通常通り印刷ができます。	つめかえをしてインクは充填されていますので通常通り印刷ができます。
操作パネルの〔OK〕ボタンをエラーランプが消えるまで押すと、インク残量検知機能が無効になり、印刷可能となります。 MP170  MP460 / MP450  プリンタの〔ストップ/リセット〕ボタンをエラーランプが消えるまで押すと、インク残量検知機能が無効になり、印刷可能となります。 MP470 ※ステータスモニターの〔OK〕をクリックしても同じ表示が繰り返されますので、上記の操作を行ってください。	プリンタの〔リセット〕ボタンをエラーランプが消えるまで押すと、インク残量検知機能が無効になり、印刷可能となります。 iP1700 / iP2200  ※iP2500プリンタの場合、電源ボタンの下に〔リセット〕ボタンがあります。 ※ステータスモニターの〔OK〕をクリックしても同じ表示が繰り返されますので、上記の操作を行ってください。

8 クリーニング・印字テスト

最初にクリーニングを1回行いノズルチェックパターン印刷またはテスト印字をしてください。プリントがよくない場合はもう一度クリーニングとテストを行ってください。クリーニングとテスト方法はプリンタの取扱説明書を参照してください。
クリーニングの繰り返しはインクが多く消費されます。3回までのクリーニングで正常にプリントされない場合はクリーニングを中止し、トラブルシューティングを参照してください。

●つめかえ回数(推奨限度回数)

つめかえによるカートリッジの再使用は各色3〜4回までが適当です。それ以上のつめかえはインク供給に不都合を生じ、正常な印字が出来なくなる場合があります。その際はつめかえたカートリッジの使用を止めて、新しいカートリッジの使用を止めて、新しいカートリッジをお使いになることをお勧めします。

●2回目以降のつめかえ

注入口シールをはがし、③〜⑥の手順でつめかえを行ってください。

●つめかえが終わったら

つめかえた後の残ったインクは、キャップをしっかりと閉め、直射日光の当たるところ及び高温多湿の場所は避け、涼しい所に立て、次のつめかえまで保管してください。

トラブルシューティング

●クリーニングの繰り返しはつめかえたインクや他のインクの消費を早め、通常動作に戻るまで時間がかかってしまいますので、下記のトラブルシューティングを参照してください。
●以下の状態のインクカートリッジでつめかえをした場合はサポート対象外となりますので、お確かめの上お使いください。
1.純正新品使用後のカートリッジ以外のカートリッジには対応しておりません。(再生品カートリッジ、互換品カートリッジ、他社つめかえインクと併用など)
2.つめかえ回数が取扱説明書に記載の推奨限度回数を超えて不具合となったカートリッジ。
3.他社つめかえインクや道具、並びにインク残量表示を書き換えたカートリッジ。
4.インクがなくなって長い間放置(使用しない)されていて、つめかえ不能なカートリッジ。

	症　状	確認事項	処　置
商品について	商品内容が記載と異なる。	パッケージ正面および側面の表記を確認してください。	付属品がない、または数量が不足している場合は、購入された販売店まで連絡してください。
	インクボトルからインクがもれている。	箱やボトルの損傷はありませんか。	損傷がない場合は、購入された販売店まで連絡してください。
	壊れているものがある。	箱やボトルの損傷はありませんか。	損傷がない場合は、購入された販売店まで連絡してください。
つめかえ作業中	注入中に注入口からインクがあふれ出てくる。	入れ方が強すぎませんでしたか。 インクの入れ過ぎの可能性があります。	インクの注入は静かにゆっくりと行ってください。強くて急な注入は勢いで注入口からあふれ出て来やすくなります。インクの注入量は(手順4)を参照して、標準量を参考にして終了してください。入れ過ぎはノズルにも影響が出やすく、印字不良になりやすくなります。
	注入中にプリントヘッドからインクが漏れてくる。	注入口をふさいでいませんか。	ノズルを差し込みすぎて注入口をふさいだ状態では、インクが入った分の空気が抜けないためノズルから漏れてきます。注入中は注入口とノズルの間にすき間をとってください。(手順4参照)
	最後のインク確認でプリントヘッドからインクが漏れてくる。	インクの入れすぎの可能性があります。	ティッシュペーパーの上にカートリッジのヘッドを下にして30秒ほど置き、余分なインクが自然に止まるまで吸収してください。
	最後のインク確認でインクが出ていない。	つめ替え前にヘッドの確認をしましたか。(インクが固まって付いていませんか)	ヘッドにインクがついたまま放置されたカートリッジはインクが固まってしまい、使用できない可能性があります。つめかえインクが瞬間的にカートリッジ内やノズルを凝固させることはありません。
		インク注入量が不足していませんか。	注入口からの漏れなどのため途中で注入を止めた場合でも、その後、まだインクが入ることがあります。再度、インクを注入してみてください。
	付属品の注入口シールがなくなった。	市販の接着テープなどを代用でお使いください。	注入口の封止が目的のため接着テープをお使い頂いても問題ありません。
印刷の時	注入後、プリントヘッドからインクが漏れてくる。	インクの入れ過ぎの可能性があります。	ティッシュペーパーの上にカートリッジのヘッドを下にして30秒ほど置き、余分なインクが自然に止まるまで吸収してください。
	カートリッジをプリンタにつけても動作しない。	インク残量検知を無効にする操作をしていただけましたか。	つめかえたあとのカートリッジはインク残量検知機能を無効にして使用しますので、その操作を行ってください。(手順7)
		カートリッジを確認してください。	互換カートリッジや再生リサイクルカートリッジをつかっていませんか。純正品以外は対応しておりません。
		カートリッジのコンタクト面やプリンタ側のコンタクトが汚れていませんか。	汚れなどによりプリンタが認識しない場合があります。プリンタの取扱説明書またはサポート情報を参照して対処してください。
	印刷ができない、またはかすれやスジが入る。(下記※1)	長期使用していない。または、外してあったカートリッジではありませんか。	ヘッドにインクがついたまま放置されたカートリッジはインクが固まってしまい、印刷しない可能性があります。つめかえる前に必ず印字できるか確認してください。
		他社のインクと併用していませんか。	純正互換インクなので、併用した場合インクのかすれや出なくなる恐れがあります。
		つめかえ回数を確認してください。	つめかえ回数が多くなると(3～4回までが目安)中のインク吸収体が劣化し、インクの流れや吸収に支障が生じ、印字の状態が悪くなりやすくなります。新しいカートリッジへの交換をお勧めします。
		プリンタヘッドにインクが余分についていませんか、インクの入れ過ぎの可能性があります。	インクを入れ過ぎるとヘッドにインクが出て溜まり、ノズルをふさいでしまいます。ティッシュペーパーの上にカートリッジのヘッドを下にして30秒ほど置き、余分なインクを吸収してください。
		インク注入量が不足していませんか。	注入口からの漏れなどのため途中で注入を止めた場合でも、その後、まだインクが入ることがあります。再度、インクを注入してみてください。
インク残量表示について	インク残量表示がもどらない。	インク残量検知を無効にして使用しますので表示されません。	つめかえたあとのカートリッジはインク残量検知機能を無効にして使用しますので、そのカートリッジを使用中は残量を表示しません。新品カートリッジを取り付けることにより再び有効となります。

(※1)改善しないままクリーニングを繰り返すことはしないでください。つめかえたインクや他のインクの消費を早め、通常動作に戻るまで時間がかかってしまいます。
※つめかえインクを使用したカートリッジを使ったプリンタは、メーカーによっては不正改造に当たると判断される場合があります。
不具合が発生した場合まず弊社にご連絡ください。

サンワサプライ
つめかえインク サポートセンター
tel:0120-968-268
受付時間：月～金(土・日・祝日をのぞく)
9:00～12:00　13:00～17:00
inksupport@sanwa.co.jp
※フリーアクセスには、050番号のIP電話からはつながりません。ご不便をおかけしますが、一般加入による固定電話、もしくは携帯電話からご利用くださいますよう、お願いいたします。

お願い

ご連絡を頂く際はパッケージ裏面に記載の品番をお知らせください。
INK-00000

サンワサプライ株式会社
岡山サプライセンター　岡山県岡山市北区田町1-10-1　TEL.086-223-3311
東京サプライセンター　東京都品川区南大井6-5-8　TEL.03-5763-0011
http://www.sanwa.co.jp/
11/01/NSDaki